# 転職機会の拡大をどのように評価すべきか

2026年10月26日
第38回連合総研フォーラム

日本経済研究センター研究顧問
齋藤　潤

# 今日の内容

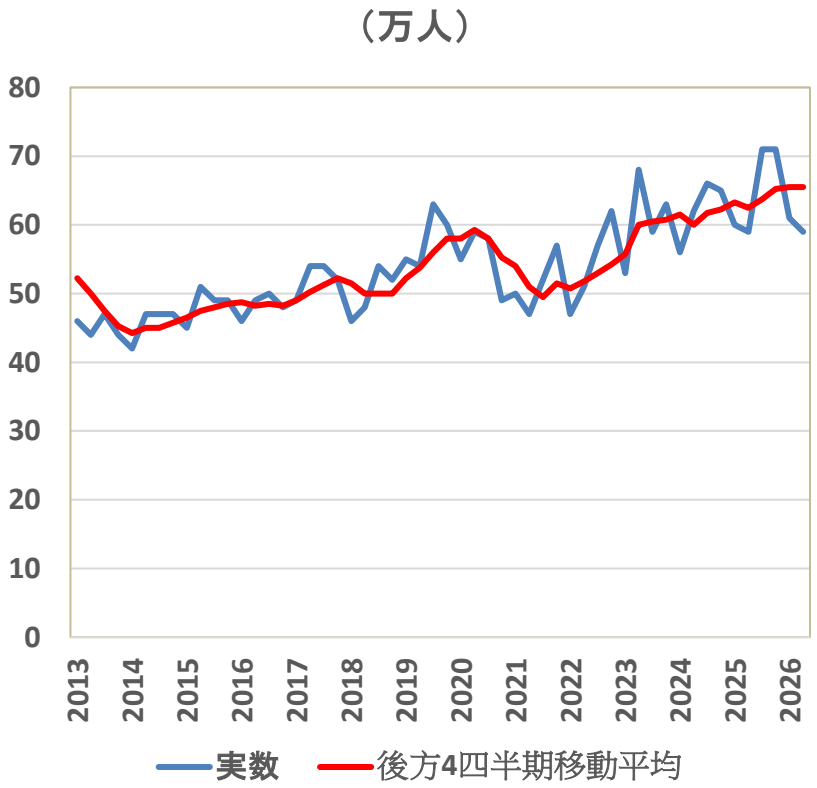
- １．人手不足下における転職機会の拡大
- ２．転職機会の拡大を背景にした賃金上昇
- ３．バーゲニング・パワーとしての転職可能性
- ４．AIの導入進展に伴う雇用環境の変化
- ５．雇用を維持するための転職の重要性
- ６．まとめ

# 人手不足下における転職機会の拡大

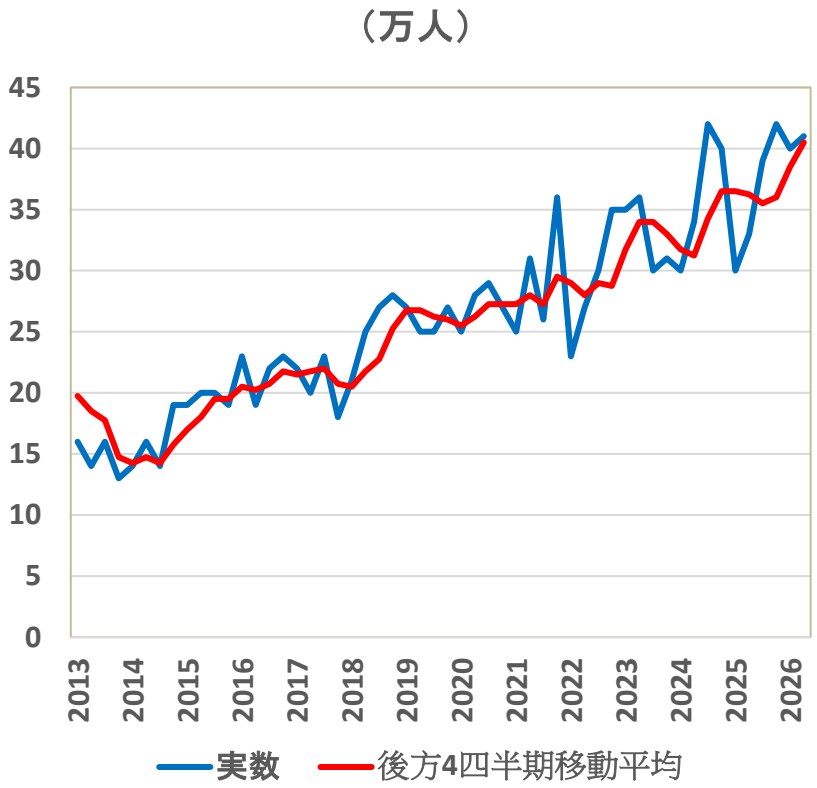
- 正規雇用を巡るコロナ後の変化
  - 転職者数が増加傾向
  - 若年だけでなく中高年でも転職が増加傾向
  - 転職に伴い賃金が上昇する傾向
  - 転職希望者が増加し、転職希望求職者も増加傾向

# 転職者数
## （過去1年以内に正社員間で転職）

### 男性




### 女性



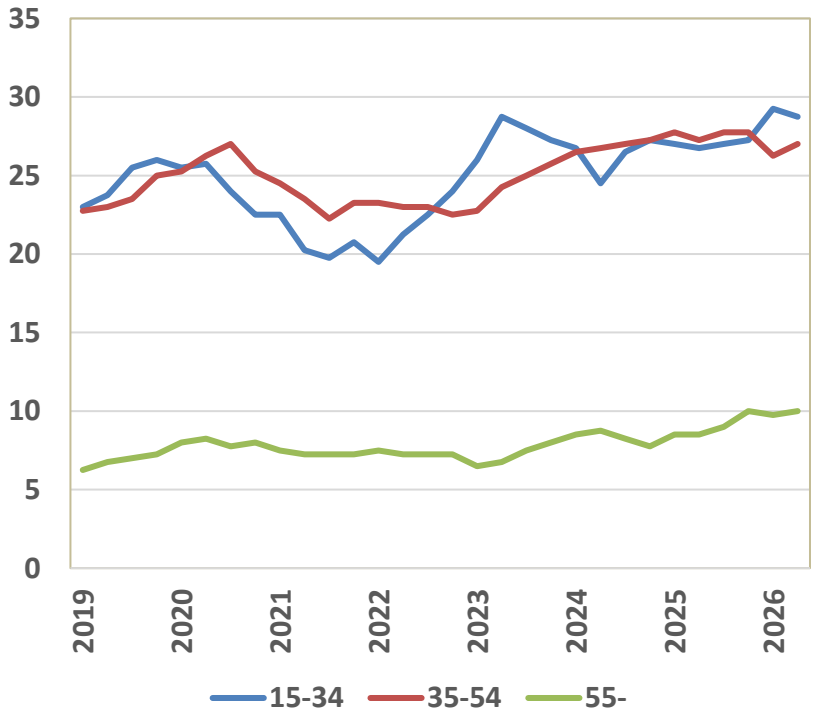

（注） データは四半期別。

（データ出所） 総務省 「労働力調査」（詳細集計）

# 年齢階級別にみた転職者数
## （過去1年以内に正社員間で転職）

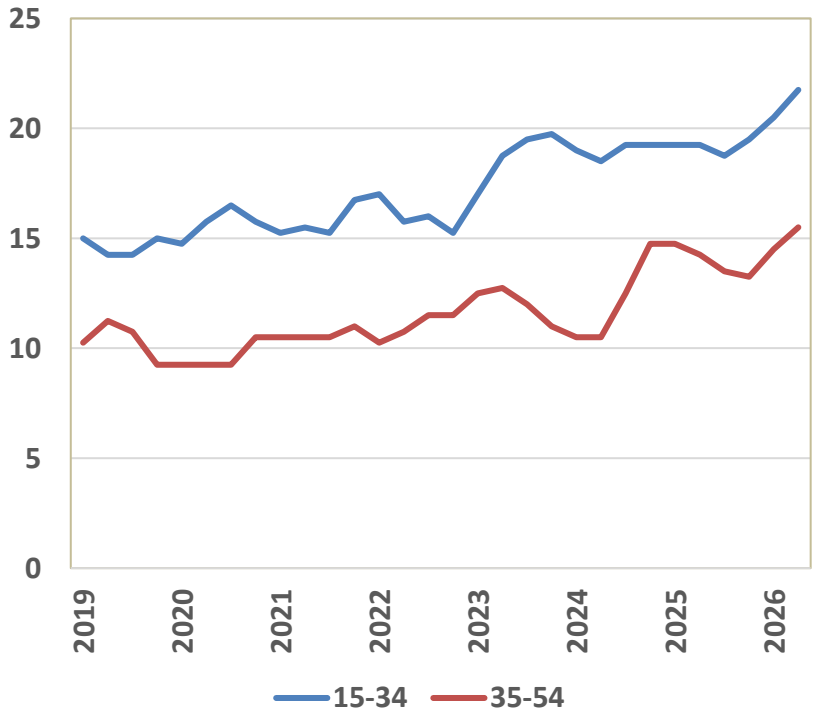
### 男性

（後方4四半期移動平均、万人）




### 女性

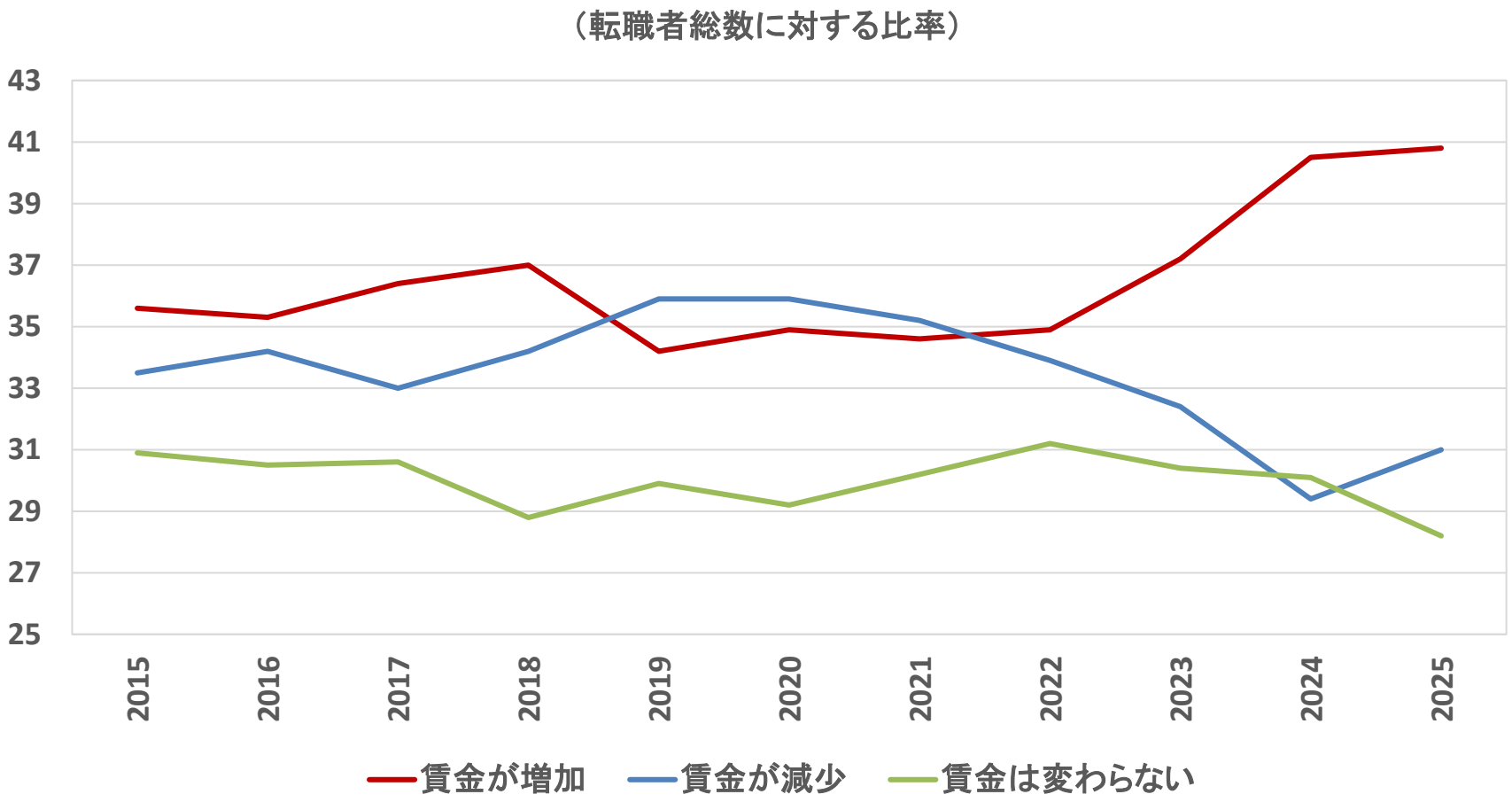
（後方4四半期移動平均、万人）




（注） 1. データは四半期別。
2.女性の55歳以上は十分なデータなし。

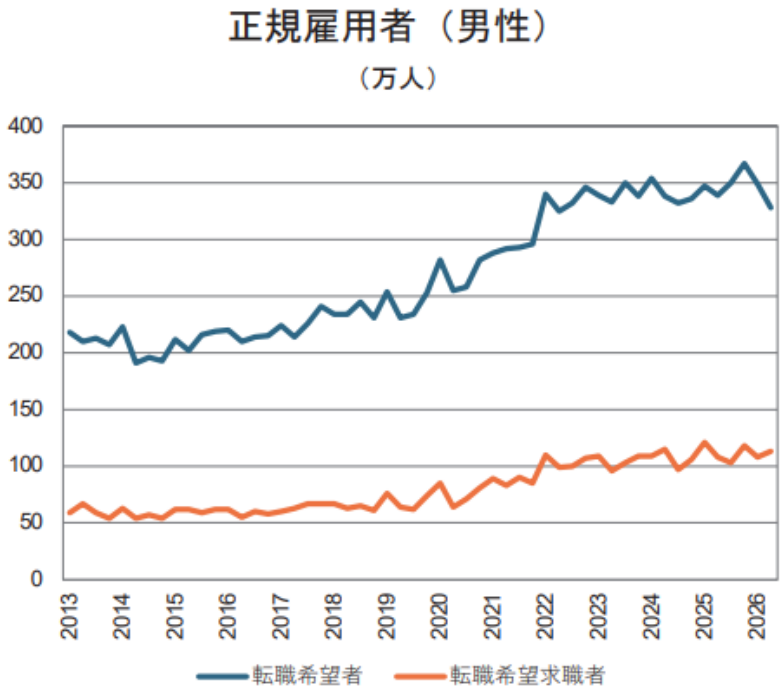
（データ出所） 総務省 「労働力調査」（詳細集計）

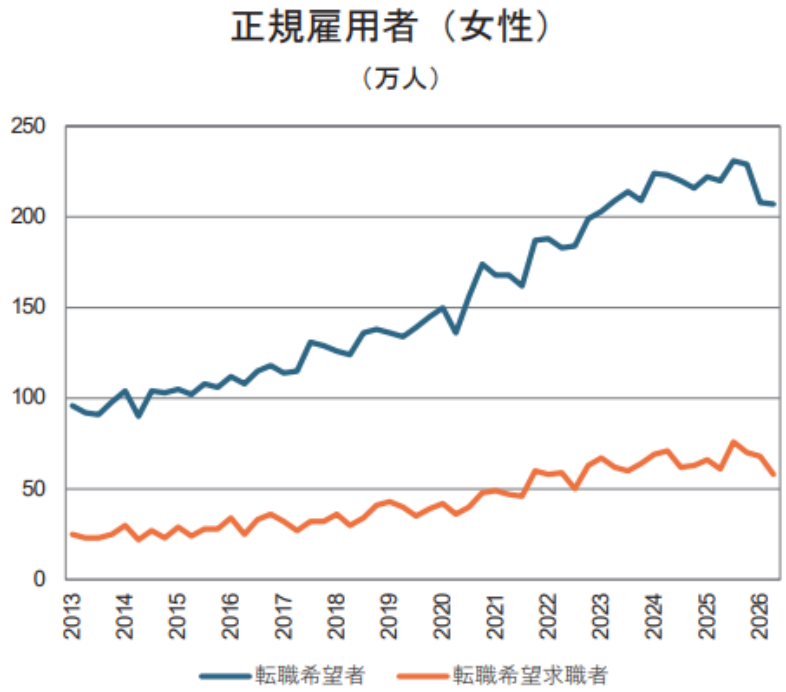
# 転職に伴う賃金動向




（注）「賃金は変わらない」には不詳を含む。
（データ出所） 厚生労働省 「雇用動向調査」

# 転職希望者数・転職希望求職者数

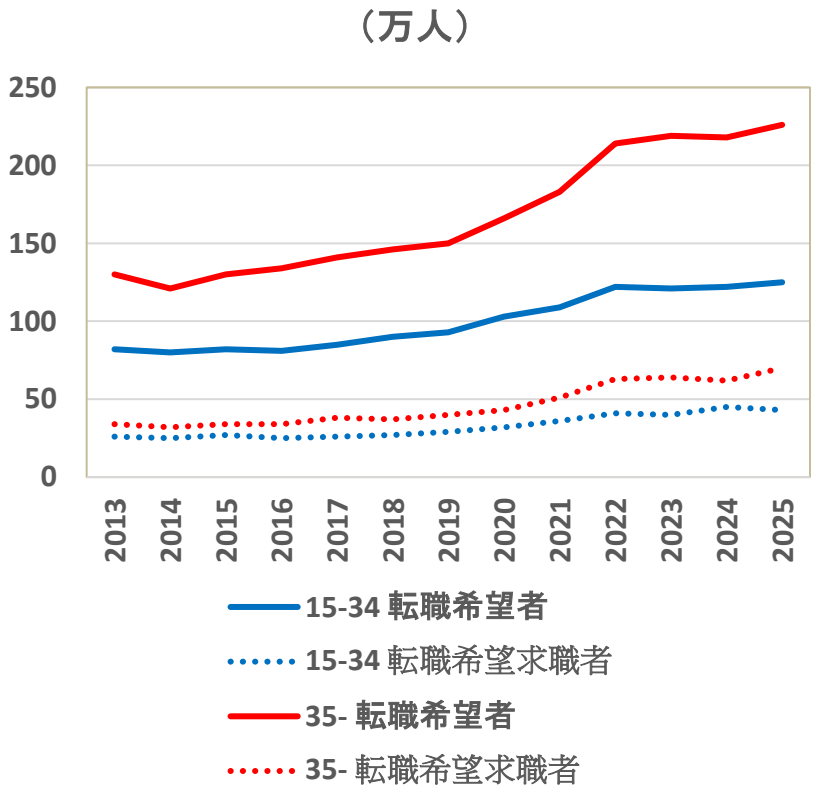


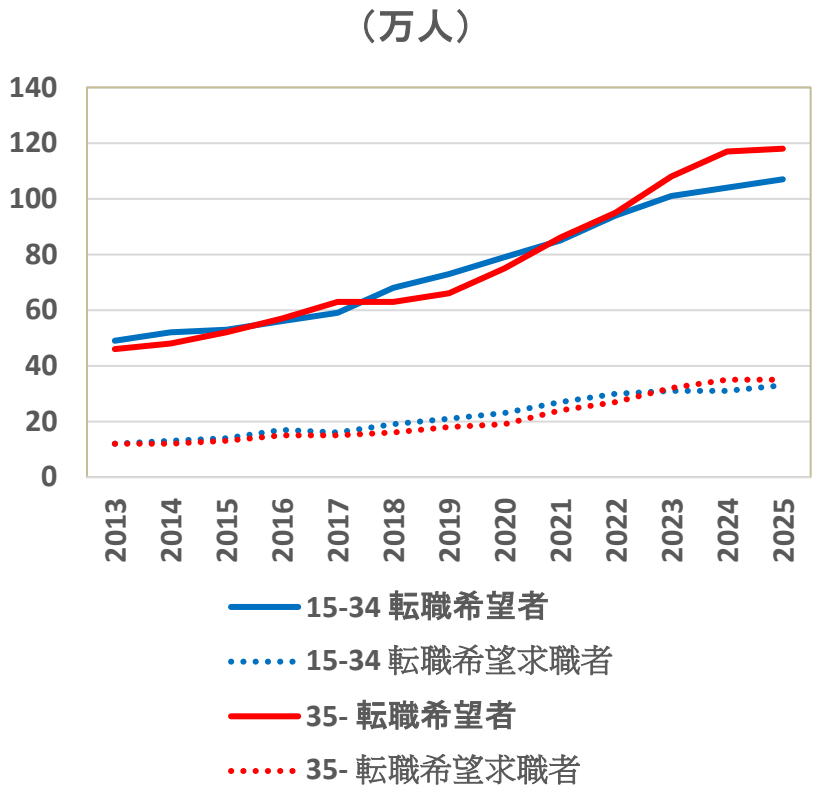

（備考）１．データは四半期別。
２．転職希望求職者数は転職希望者の内数。
３．総務省「労働力調査」（詳細集計）。

# 年齢階級別にみた転職希望者数・転職希望求職者数

## 男性




## 女性

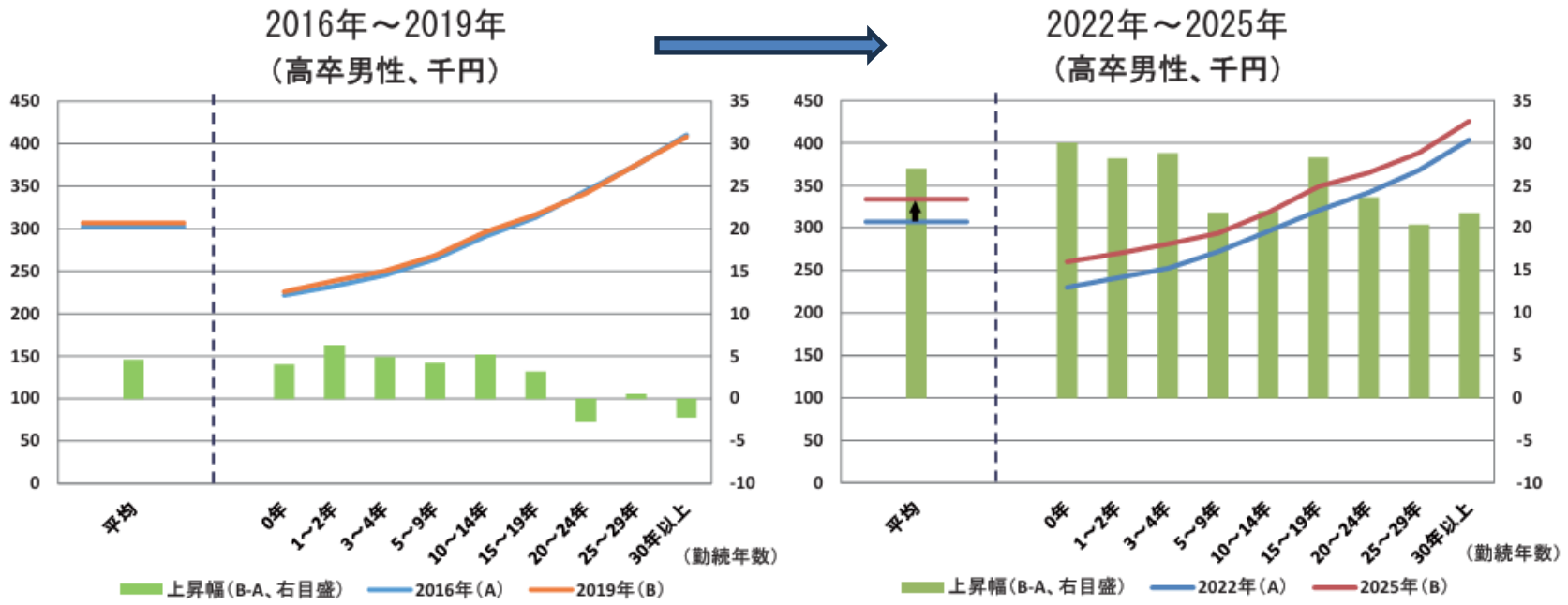



（データ出所） 総務省 「労働力調査」（詳細集計）

# 転職機会の拡大を背景にした賃金上昇

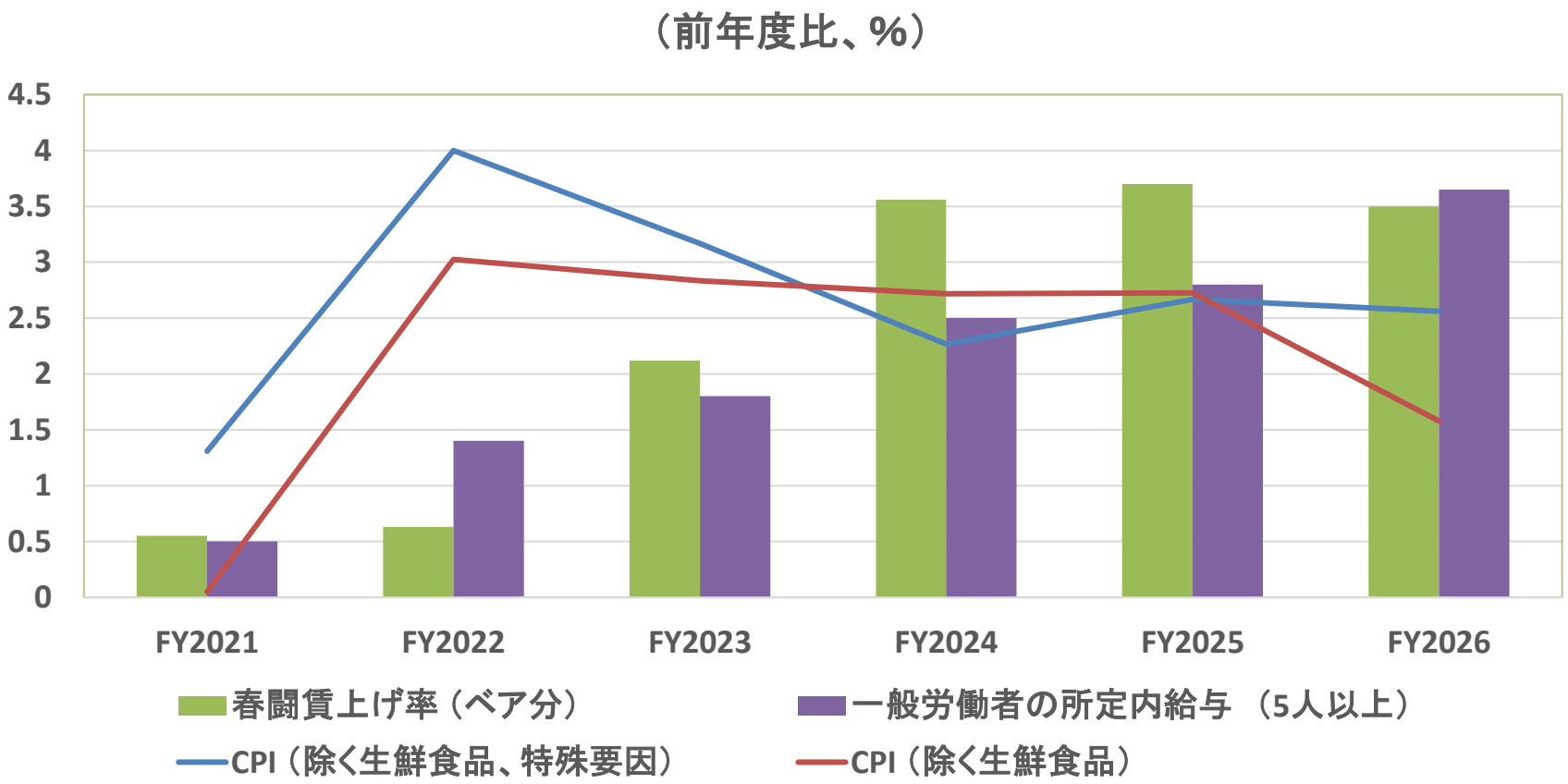
- コロナ後に賃金は上昇傾向に。
  - 2024年以降、春闘賃上げ率は5%超。
  - ベースアップ率も3.5%程度に。
  - 賃上げは中小企業でも進展。
- 正規雇用の賃金は、若年層だけでなく、中高年層でも上昇。その結果、平均賃金も上昇。
  - 足元では、一般労働者の所定内給与の伸びは春闘ベースアップ率に追いつき、消費者物価上昇率も上回ってきている。

# 正規雇用の勤続年数別所定内給与




（備考）１．所定内給与の金額は６月分月額。
２．厚生労働省「賃金構造基本統計調査」。

# 賃金上昇率と消費者物価上昇率




（注）1. N年の春闘賃上げ率（ベア分）はN年度の賃金上昇率に対応すると想定。
　　2. 2026年度は、年度に入ってから直近月までの平均。
（データ出所）連合 「春季生活闘争最終回答集計結果」、厚生労働省 「毎月勤労統計調査」、総務省 「消費者物価指数」、日本銀行 「消費者物価のコア指標」

# バーゲニング・パワーとしての転職可能性

- 賃金上昇の背景には、人手不足の一層の進展がもたらした転職機会の拡大がある。
- 受入れ企業はより良い条件で転職を促そうとする一方、送り出し企業も転職を引き留めるためにより良い条件を提示。
- 人手不足下では、転職可能性によって雇用者のバーゲニング・パワーが発揮される。
- 労働者の転職する権利を積極的に位置づけ、転職機会を保障することが重要。

# AIの導入進展に伴う雇用環境の変化

- 人手不足が一層激しくなる中で、人工知能（AI）の導入が加速されると見込まれる。
- AI化の進展に対しては、警戒論が強い。
- 確かに、AIによってこれまで人間が担ってきた職業がAIによって代替される可能性が高まる。
- しかし、同時に、

  （1） AIが補完することによって、生産性が高まり、賃金が高まる職業もある。

  （2） AIが新たに作り出す職業もある。

# 雇用を維持するための技能訓練の重要性

- ただし、ここで認識しておく必要があるのは、「AIが代替する職業で必要だったスキル」と、「新たに創り出される職業で必要とされるスキル」とが同じとは考えられないこと（→スキル・ミスマッチの可能性）。
  - 労働者が雇用を維持するには、アップスキリング、リスキリングが必要。
  - しかも、そのための技能訓練が企業によって与えられると期待することはもはや困難に。技能訓練の機会を社会的にどのように保障するかが今後の課題。

# 雇用を維持するための転職の重要性

- 加えて、同一企業内において、「AIによって失われる雇用量」と「AIによって新たに創り出される雇用量」とが量的に等しくなるという保証はない。したがって、労働者が雇用を維持するためには、転職機会が保障されている必要がある。
- AIの導入が進展する下では、人手不足の下におけるのとは別の意味で、転職機会の保障が重要になってくる。

# まとめ

- 人手不足の下では、賃金上昇を実現するためにも、労働者の転職機会が保障される必要がある。
- AIの導入が進展し、スキル・ミスマッチが常態化する下では、雇用を維持するために、技能訓練の機会の保障とともに、転職機会を保障することが重要になってくる。
- 労働者が円滑に転職できるような環境整備を進めることが喫緊の課題。

# ご清聴有難うございました

日本経済研究センター研究顧問
齋藤　潤